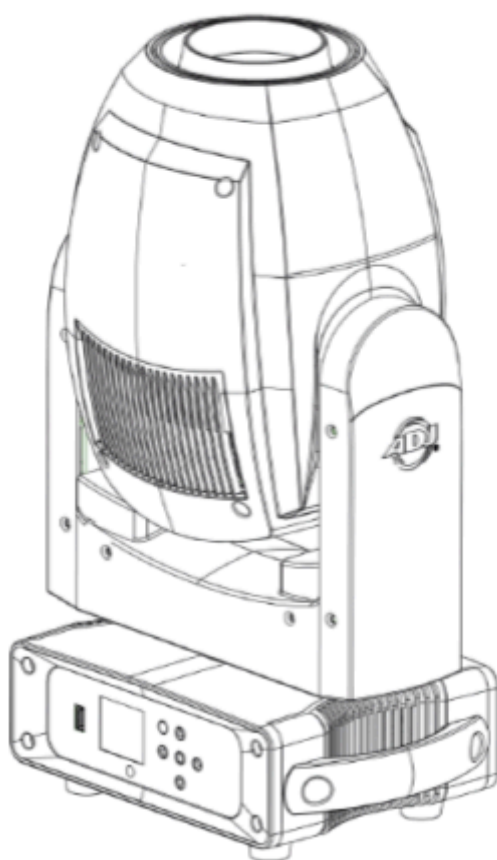




FOCUS SPOT 4Z

User Guide



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL : 0476(89)1111 FAX : 0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は、American DJ Focus Spot 4Z をご購入いただき、誠にありがとうございます。
Focus Spot 4Zは200W クールホワイト LEDを光源に持つスポットタイプのムービングヘッドです。
本製品を、末永くご利用いただくため、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

特徴

- 200W クールホワイトLEDエンジン
- モーターライズド・フォーカス
- モーターライズド・ズーム（11度～22度）
- ゴボ6種類 + オープン
- カラー 8色 + 白
- プリズムホイール x 2

付属品

- オメガブラケット x 1
- 電源ケーブル（3m）x 1
- セーフティケーブル

安全上の注意

1. 梱包を開封し、破損や欠品がないか確認してください。
2. 破損や欠品、異常がある場合は、本製品の使用を中止し、販売店にご相談ください。
3. 本製品は、安全で安定した場所に設置してください。
4. 電源ケーブルは、踏まれたり挟まれたりしない場所に設置してください。
5. 接続がすべて完了した後で本製品の電源を入れてください。
6. 本製品を他の製品と接続する際は、必ず電源ケーブルをコンセントから外してください。
7. ケーブルを抜き差しする際は、必ずコネクター部分を持って操作してください。
8. AC100V 50/60Hzの環境でご使用ください。
9. ディマーパックから電源を供給しないでください。
10. 本体カバーを取り外さないでください。
11. 本製品は屋内専用です。
12. 周辺温度が40℃を超える環境で使用しないでください。
13. 壁から15cm以上離し、通気性の良い場所に設置してください。
14. 布やシートなどを被せないでください。
15. 周辺に可燃物、爆発物、または高温の物を置かないでください。
16. 雨や湿気にさらさないように注意してください。感電や火災、故障の原因になります。
17. 本製品に液体がかからないようにしてください。
18. 長時間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから外してください。
19. 故障が生じた場合は、販売店にご連絡ください。

※付属の電源ケーブルは本製品専用です。本製品をご使用の際は、必ず付属の電源ケーブルを使用してください。

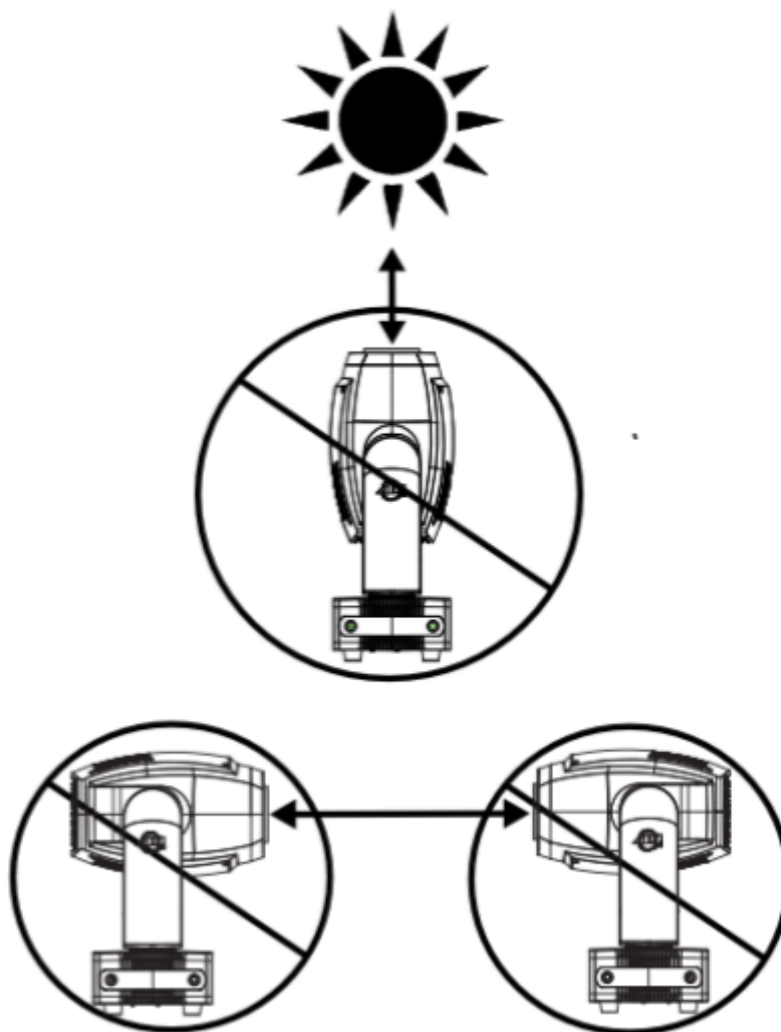
設置について

外部光源による灯具への影響

直射日光、照明用ムービングヘッド、レーザーなどの外部光源を、照明機器の外部ハウジングに向かって直接集光照射したり、フロントレンズ開口部を通過させると、光学部品、ダイクロイック・カラーフィルター、ガラス/メタル・ゴボ、プリズム、アニメーション・ホイール、フロスト・フィルター、アイリス、シャッター、モーター、ベルト、配線、放電ランプ、LED などに、深刻なダメージを与えることがあります。

この問題は、ADJ の照明器具に限ったことではなく、各メーカーの照明器具に共通する問題です。この問題を完全に防止する方法はありませんが、以下のガイドラインに従うことで、深刻なダメージの発生を防止することができます。詳細については、ADJ サービスにお問い合わせください。

開梱や設置作業中、ステージや屋外においても、長時間のアイドル時間中は、灯体やフロント・レンズ開口部に、直射日光、他の照明機器からの光線、レーザー光線などを照射しないでください。また、照明器具からの光線を他の照明器具に向けて直接照射しないでください。



メンテナンスガイドライン



CLEANING

メンテナンスを行う前に、必ず電源を切ってください

適切な動作の維持、最適な光出力、および製品寿命の延長のため、適度な清掃を推奨します。清掃の頻度は、機器が使用される環境によって異なります。湿気の多い場所、煙の多い場所、または特に汚れやすい環境では、光学部品に汚れが蓄積しやすくなります。外部レンズ表面は、汚れやゴミの蓄積を防ぐため、柔らかい布で定期的に清掃してください。アルコール、溶剤、アンモニア系のクリーナーは絶対に使用しないでください。

メンテナンス

適切な動作の維持と製品寿命の延長のため、定期的な点検を推奨します。本機器内部には、ユーザーが修理可能な部品はありません。その他の修理に関しては、必ず販売店、または代理店にお問い合わせください。

定期点検の際は、以下の点に注意してください：

- 認定された電気技術者による詳細な電気チェックを3か月ごとに実施し、回路接点の状態を確認し、過熱を防ぐ。
- すべてのネジと締め具が常にしっかりと固定されていることを確認する。緩んだネジが通常の運転中に外れると、部品が落下し、損傷や怪我の原因になる可能性がある。
- 本体、カラーレンズ、リギングハードウェア、リギングポイント（天井、吊り構造、トラス）に変形がないか確認する。本体が変形すると、内部にホコリが侵入する恐れがある。損傷したリギングポイントや固定されていないリギングは、機器の落下を引き起こし、人に重大な危害を加える可能性がある。
- 電源供給ケーブルに損傷、経年劣化、堆積物がないか確認する。

ヒューズ交換

機器を接続されているすべての電源から取り外してください。電源が完全に遮断されたことを確認した後、マイナスドライバーを使用して、電源入力の近くにあるヒューズホルダーのネジを緩めます。故障したヒューズを取り外し、新しいヒューズと交換した後、ヒューズホルダーをしっかりと固定してください。

各部の名称



設置に関する注意事項



本製品は有資格者が設置をおこなってください。

機器の設置は、地域、国内、および国際的な商業電気・建築基準および規制に従って行う必要があります。単体の機器を金属製のトラスや構造物にリギング・取り付ける前、または機器を任意の表面に設置する前に、専門の設備設置業者に相談し、金属製トラス・構造物や表面が、機器、クランプ、ケーブル、アクセサリーの合計重量を安全に支えられる認証を受けているか確認してください。推奨周囲温度範囲は -13°F (-25°C) $\sim$ 113°F (45°C) です。

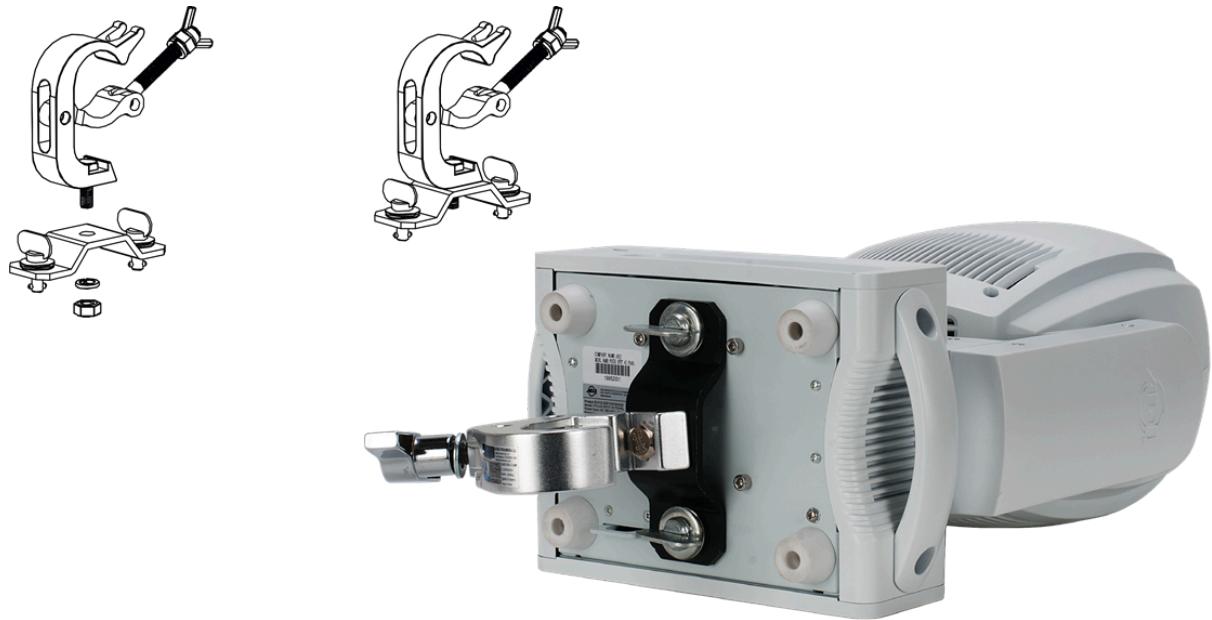
機器は、歩行経路、座席エリア、または許可されていない人員が手を伸ばして届く可能性のある場所を避けて設置してください。リギング、取り外し、またはメンテナンス作業中に機器の真下に立たないでください。

天井への設置時は、機器の負荷に耐えられる適切に評価された安全ケーブルなど、二次的な安全固定装置を必ず使用してください。メンテナンスを行う前に、機器が完全に冷却されるまで約15分間待機してください。

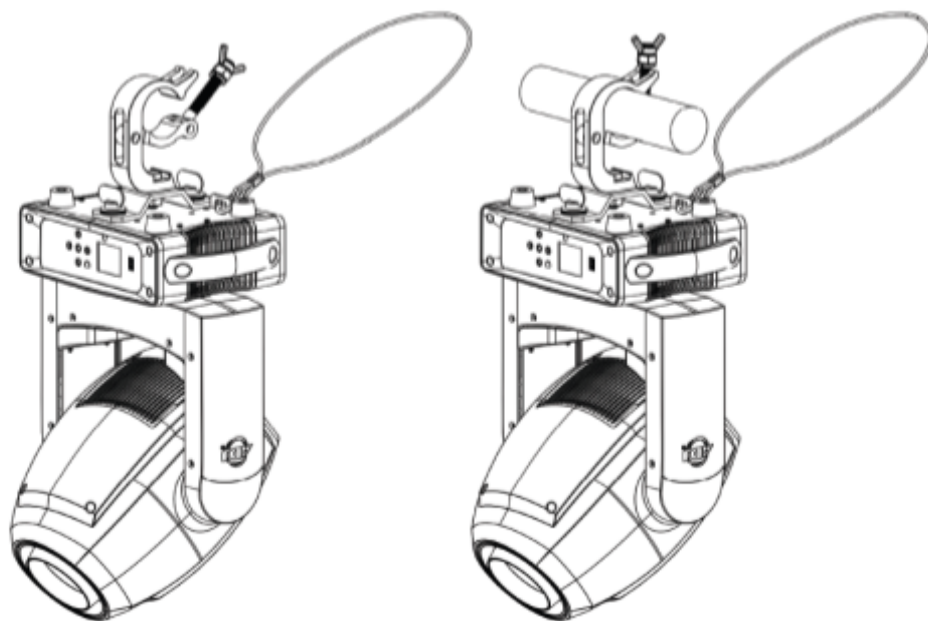
クランプの取り付け

M12ねじとナットを使用して、クランプをオメガブラケットに取り付けます。オメガブラケットのクイックロックを、機器のベースにある対応する穴に差し込みます。

注意: ブラケットを機器に取り付ける前に、クランプをオメガブラケットに取り付ける必要があります。



クイックロックを時計回りにしっかり締めてください。安全ケーブルをユニット底部にある開口部に通し、トラスシステムまたは安全な固定箇所を通します。ケーブルの端をカラビナに差し込み、安全ネジを締めて固定してください。



設置時の注意事項

- 機器を設置する場所は、機器の10倍以上の重量を変形なしで支える能力が必要です。
- 設置時は、セーフティケーブルなど、二次的な安全具を使用して機器を固定してください。
- 機器の取り付け、取り外し、または整備を行う際は、決して機器の真下に立たないでください。

天吊り設置に関する注意事項

- 天吊り設置には、作業負荷限界の計算、使用材料の確認、設置材料および機器の定期的な安全点検など、高度な経験が必要です。
- これらの資格がない場合、自身で設置を試みないでください。
- このような設置は、年に一度、熟練した専門家による点検を受けてください。



Focus Spot 4Ziは、3つの異なる設置方法で完全に動作します。

- 逆さまに吊るす。
- トラスに横向きに取り付ける。
- 平らで水平な面に設置する。

安全対策として、必ず安全ケーブルを使用して取り付けてください。これにより、クランプが破損した際の偶発的な損傷や怪我を防ぐことができます。キャリングハンドルを二次的な固定具として使用しないでください。

GOBO の交換

本製品に搭載されているゴボは交換可能です。ゴボを交換する際は、非常に薄く、簡単に曲がる可能性があるため、慎重に作業を行い、破損しないようにしてください。

△ 注意！ 機器を使用中に開けないでください。ゴボを交換する前に、必ず主電源を切断してください。

ゴボホイールの位置を特定する方法：

主電源を切断した後、レンズが前方を向くようにヘッドを配置します。機器のレンズを通して内部を確認し、ギアが右側にくるようにヘッドを調整してください。ギアが右側にあるとき、取り外す必要があるカバー（シェル）が上向きになります。

ゴボの交換手順：

1. ゴボを交換するには、シェルを固定している4本のネジを外します。慎重にシェルを持ち上げて取り外してください。
2. シェルを取り外すと、ゴボホイールにアクセスできます。ホイールを手で回転させ、交換したいゴボを見つけください。
3. ゴボを交換するには、ゴボフレームを取り外す必要があります。ゴボホイールではなくゴボフレームを軽く押しながら、ゆっくりと持ち上げて外してください。強く押す必要はありません。
4. ゴボフレームを取り外すと、ゴボが固定リング（リテーナーリング）で保持されていることがわかります。リテーナーリングを外すと、ゴボを取り出せます。
5. 新しいゴボをセットし、リテーナーリングを元の位置に戻してください。
6. ゴボフレームを元の位置に挿入し、他のゴボフレームと同じ向きになるように配置してください。
7. 機器を再組み立てしてください。

Inner Diameter: 19mm
Outer Diameter: 23mm
Thickness: 0.5mm



Gobo 1



Gobo 2



Gobo 3



Gobo 4



Gobo 5



Gobo 6

DMX512について

DMX512

DMX512とは、照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行うための、世界共通規格です。DMXコントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器のIN/OUT端子を介し、DMX信号をシリアル接続することにより、複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより、DMX信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMXリンク

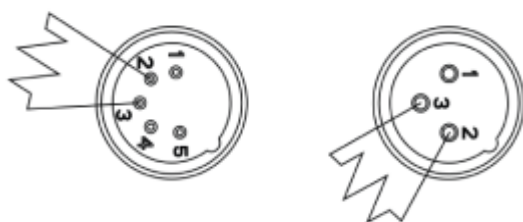
DMXデータの正確な送受信を行うために、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使い下さい。また、ユニットが接続された順番と、DMXのアドレス指定は関連しません。ユニットごとに任意のアドレスを設定することが可能です。

DMXケーブル

Focus Spot 5ZはDMXプロトコルを用いてコントロールすることができます。DMXスタートアドレス、チャンネルモードは、フロントパネルで設定します。コントローラーと灯具を接続するケーブルには、5PINのXLRコネクタを、ケーブルは110Ωのシールドケーブルを使用します。

ライン終端処理

ケーブルを長距離で配線する場合、最後の機器にターミネーターを取り付けることで、不安定な動作を防止できます。ターミネーターは110-120オームの1/4ワット抵抗器で、オスのXLRコネクタのピン2(DATA+)とピン3(DATA-)の間に接続します。このターミネーターをデ이지チェーン接続の最後の機器のメスXLRコネクタに挿入することで、ラインを正しく終端処理できます。



DMX512ターミネーターは信号の反射による干渉を回避し、信号のエラーを減少させます。最後の機器に接続する際は、PIN 2(DMX-)とPIN 3(DMX+)に120オームの1/4ワット抵抗器を直列に接続して、DMX512のラインを終端処理します。

DMX セットアップ

Focus Spot 5Zは、データ送信用に3ピンではなく5ピンのDMX-512データケーブルを使用します。5ピンのDMX機器は、3ピンDMXラインに接続することも可能です。ただし、標準的な5ピンデータケーブルを3ピンラインに接続する場合は、ケーブルアダプターが必要です。

DMXアドレス設定

DMXコントローラーを使用して照明機器を制御するには、各照明機器にDMXスタートアドレスを設定する必要があります。DMXスタートアドレスとは、DMXコントローラーから送信されるデジタル制御信号を、照明機器が「受信」し始めるチャンネル番号のことです。

このスタートアドレスの設定は、照明機器に搭載されたデジタルコントロールディスプレイで、正しいDMXアドレスを入力することによって行います。

照明機器全体に同じスタートアドレスを設定することも、機器ごとに異なるアドレスを設定することも可能です。

- **同じスタートアドレスを設定する場合：**
 - すべての照明機器が同じ信号に応答し、同じ動作をします。
 - 1つのチャンネル設定を変更すると、すべての照明機器に影響を与えます。
- **異なるスタートアドレスを設定する場合：**
 - 各照明機器は、個別に設定されたチャンネル番号に基づいて制御信号を受信します。
 - 1つのチャンネル設定を変更しても、その設定は特定の照明機器のみに影響します。
 - 各機器のDMXチャンネル数に応じて、適切なスタートアドレスを設定する必要があります。

例えば、Focus Spot 4Zを16チャンネルモードで使用する場合、以下のようにスタートアドレスを設定します。

- 1台目の照明機器：1
- 2台目の照明機器：17(1 + 16)
- 3台目の照明機器：33(17 + 16)

このように、各照明機器のスタートアドレスは、前の機器のスタートアドレスにその機器のDMXチャンネル数を加算することで決定します。

チャンネルモード	ユニット1	ユニット2	ユニット3	ユニット4
16チャンネル	1	17	33	49
18チャンネル	1	19	37	55
22チャンネル	1	23	45	67

システムメニュー

この照明機器には、設定や調整が容易に行えるディスプレイ付きコントロールパネルが搭載されています。



システムメニュー - 操作手順

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP、DOWN、RIGHT、LEFTボタンを使用してメニューを移動します。
3. ENTERボタンを押して選択したメニューにアクセスします。
4. UPおよびDOWNボタンを使用して項目をスクロールします。
5. ENTERボタンを押して選択を確定します。
6. MODEボタンを押すとメニューを終了できます。

10秒間操作を行わないと、自動的にメニュー画面が終了します。

メニュー	サブメニュー	オプション/値		概要
USER MODE	User Mode	Standard (18 Channel Mode) Basic (16 Channel Mode) Extend (22 Channel Mode) User A User B User C		
	Edit A Edit B Edit C	Max. Channel PAN		
FUNCTION	Status	No DMX Mode P.Reverse T.Reverse Pan Degree Feedback Hibernation	Hold /Auto/Black ON/OFF ON/OFF 630/ 540 ON/OFF Speed 1 ~ 4 OFF, 01M~99M, 15M	
	Dim Mode	Standard Stage TV Architectur Theatre Stage2		
	Temp. C/F	Celsius fahrenheit		
	Gamma	2.0 /2.2/2.4/2.6/2.8		
	Frequency	900Hz , 1000Hz, 1100Hz, 1300Hz, 1400Hz, 1500Hz, 2500Hz, 4000Hz, 5000Hz, 15KHz, 20KHz, 25KHz		
	Fan Set	Head Fan	Auto , High, Low	
	LCD.Set	Backlight FlipDisplay Key Lock Disp Flash	02~60m < 50m > ON/OFF ON/OFF/ON1 ON/OFF	
	Disp.Set	Chan.Value Secondary Set Auto.Prog	PAN... Sec1, Sec2, Sec3 Primary/Alone	
	USB Update	OFF/ON		
	DFSE	ON/OFF		
	Time.Info	CurrentTime Total Time Last Time Timer PIN Clear Last Clear Total		Current Running Time (Hours) Total Running Time (Hours) Total Running Time (Hours) Last Time Clear: (Password= 060) ON/OFF ON/OFF
	Temp.Info	T:XXX		
	Fan Speed	Fan1:XXXX RPM Fan2:XXXX RPM		
	Error. Info	NONE/Pan, Tilt...		
	Model. Info	FOCUS SPOT 4Z		
	Software.V	1U:VX.X.X 2U:VX.X.X 3U:VX.X.X		

TEST	Reset.Motor	All Pan & Tilt Color & Gobo		
	TestChannel	Pan, Pan Fine, Tilt, Tilt Fine, ColorWheel, Gobo, RotGobo, Strobe, Dimmer, Dim Fine, Prism1, Prism1Rot, Prism1 Fine, Prism2, Prism2Rot, Prism2Fine, Focus, Zoom, ZoomFine, DimMode, P, T Speed, Reset, Prog		
	Panel.Ctrl	Pan, Pan Fine, Tilt, Tilt Fine, ColorWheel, Gobo, RotGobo, Strobe, Dimmer, Prism1, Prism1Rot, Prism2, Prism2Rot, Focus, Zoom, DimMode, P, T Speed, Reset, Prog		
	Calibrate	Password Pan, Tilt, ColorWheel, Gobo, RotGobo, Prism1, Prism1Rot, Prism2, Prism2Rot, Focus, Zoom		Password= 050
PROGRAM	Select.Prog	Prog.Part 1 = Program 1~9 Prog.Part 2 = Program 1~9 Prog.Part 3 = Program 1~9		Program 1 Program 2 Program 3
	Edit.Prog	Program 1 : Program 9	Program Test Step 01=SCxxx Step 64=SCxxx	
	Edit.Scene	Edit Scene 001 ~EditScene250	Pan, Tilt, ... Fade Time Scene Time	

SET ADDRESS – DMXアドレスの設定

1. メインメニューにアクセスし、UPまたはDOWNボタンを押して「Receive」を選択し、ENTERを押します。
2. 「Set Address」が表示されたら、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して、DMXアドレスを調整します。
4. ENTERボタンを押してアドレスを確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

USER MODE – DMXチャンネルモードの選択・設定

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。UP/DOWNボタンで「User Mode」を選択し、ENTERを押します。
2. UP/DOWNボタンを使用して、3種類のDMXチャンネルモードをスクロールします。
 - Basic Mode(16チャンネルモード)
 - Standard Mode(18チャンネルモード)
 - Extended Mode(22チャンネルモード)
 - 「User Mode A / B / C」は、ユーザーがカスタマイズできるDMXモードです。
各モードを選択し、DMXチャンネル数を設定し、各チャンネルの機能を割り当てる
ことができます。
3. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

NO DMX MODE – DMX信号喪失時のモード設定

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Status」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「No DMX Mode」を選択し、ENTERを押します。
4. 「Hold」(最後に設定されたDMXの状態を維持)、「Black」(ブラックアウト)、「Auto」(自動プログラム)のいずれかが表示されます。UP/DOWNボタンを使用して設定を選択してください。
5. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

PAN INVERSE – パン動作の反転

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Status」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「P. Reverse」を選択し、ENTERを押します。
4. 設定に応じて「Off」(通常動作)または「On」(反転動作)が表示されます。UP/DOWNボタンを使用して設定を選択してください。
5. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

TILT INVERSE – チルト動作の反転

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Status」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「T. Reverse」を選択し、ENTERを押します。
4. 設定に応じて「Off」(通常動作)または「On」(反転動作)が表示されます。UP/DOWNボタンを使用して設定を選択してください。
5. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

PAN DEGREE – パン角度の変更

パン(左右の動作)範囲を630° から540° に変更できます。DMXモードで使用する設定です。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Status」を選択し、ENTERを押します。
4. UP/DOWNボタンを使用して「Pan Degree」を選択し、ENTERを押します。
5. 設定されたパン角度(540° または630°)が表示されます。UP/DOWNボタンを使用して選択してください。
6. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

FEEDBACK – パン・チルトのポジションフィードバック設定

パン(左右の動き)の角度を630° から540° に変更できます。DMXモードで使用する設定です。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Status」を選択し、ENTERを押します。
4. UP/DOWNボタンを使用して「Pan Degree」を選択し、ENTERを押します。
5. 設定されたパン角度が「540」または「630」と表示されます。UP/DOWNボタンを使用して選択してください。
6. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

MOVEMENT SPEED – パン・チルトの動作速度の設定

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Status」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Move. Speed」を選択し、ENTERを押します。
4. 「Speed1」「Speed2」「Speed3」「Speed4」のいずれかが表示されます。UP/DOWNボタンを使用して設定を選択してください。
5. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

HIBERNATION – 省電力モード

DMX信号がない状態が15分続いた後に、LEDとステップモーターをオフにできます(工場出荷時の設定)。DMX信号が再び検出されると、本機は自動的にリセットされます。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Status」を選択し、ENTERを押します。
4. UP/DOWNボタンを使用して「Hibernation」を選択し、ENTERを押します。
5. 現在のスタンバイ時間が表示されます。UP/DOWNボタンを使用して「01M-99M」または「Off」に調整してください。
6. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

DIMMER MODE – ディマー(調光)モードの設定

ディマーカーブの設定を変更できます。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Dim Mode」を選択し、ENTERを押します。
4. 現在のディマーカーブが表示されます。UP/DOWNボタンを使用して適用可能なディマーカーブを選択してください。
5. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

TEMPERATURE C/F – 温度表示の単位変更

温度表示を「摂氏 (Celsius)」または「華氏 (Fahrenheit)」に切り替えることができます。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Temp. C/F」を選択し、ENTERを押します。
4. 現在の設定に応じて「Celsius」または「Fahrenheit」が表示されます。UP/DOWNボタンを使用して変更してください。
5. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

GAMMA ADJUSTMENT – ガンマ設定の調整

ガンマ設定を調整できます。特に、映像撮影時に使用される機能です。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Gamma」を選択し、ENTERを押します。
4. UP/DOWNボタンを使用して適用可能な設定を選択してください。
5. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

FREQUENCY ADJUSTMENT – 調光周波数の調整

調光周波数を調整できます。特に映像撮影時にフリッカーを防ぐために使用されます。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Frequen」を選択し、ENTERを押します。
4. UP/DOWNボタンを使用して適用可能な設定を選択してください。
5. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

FAN SET – ヘッドファン速度の調整

ムービングヘッドのファン速度を調整できます。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Fan Set」を選択し、ENTERを押します。
4. UP/DOWNボタンを使用して「Head Fan」を選択し、ENTERを押します。
5. UP/DOWNボタンを使用してファン速度を調整してください。
6. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

BACKLIGHT – LCDバックライトの調整

LCD画面のバックライト点灯時間を2～60分の範囲で設定できます。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「LCD.Set」を選択し、ENTERを押します。
4. UP/DOWNボタンを使用して「Backlight」を選択し、ENTERを押します。
5. 現在のバックライトの消灯時間が表示されます(デフォルトは「05m」)。LEFT/RIGHTボタンを使用して「02m～60m」または「Off」に調整してください。
6. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

FLIP DISPLAY – 画面回転の設定

LCD画面を180° 回転できます。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「LCD.Set」を選択し、ENTERを押します。
4. UP/DOWNボタンを使用して「Flip Display」を選択し、ENTERを押します。
5. 現在の設定に応じて「Off」または「On」が表示されます。LEFT/RIGHTボタンを使用して設定を変更してください。
6. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

KEY LOCK – キーパッドのロック

15秒後にボタンがロックされます。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「LCD.Set」を選択し、ENTERを押します。
4. UP/DOWNボタンを使用して「Key Lock」を選択し、ENTERを押します。
5. LEFT/RIGHTボタンを使用して「Key Lock」オプションを選択し、ENTERを押します。
 - “OFF” – キーパッドはロックされません。MODEボタンを押すと使用可能になります。
 - “ON” – キーパッドがロックされます。MODEボタンを5秒以上押すと解除されます。
 - “ON1” – 誤作動防止のためのロック設定。解除するには、UP、DOWN、UP、DOWN、ENTERの順にボタンを押してください。
6. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

DISPLAY FLASH – DMX信号喪失時の画面フラッシュ

DMX信号が喪失した際にディスプレイが点滅します。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「LCD.Set」を選択し、ENTERを押します。
4. UP/DOWNボタンを使用して「DispFlash」を選択し、ENTERを押します。
5. 現在の設定に応じて「Off」または「On」が表示されます。LEFT/RIGHTボタンを使用して設定を変更してください。
6. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

CHANNEL VALUE – DMXチャンネルの値表示

現在使用中の各DMXチャンネルの値を表示できます。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Disp.Set」を選択し、ENTERを押します。
4. UP/DOWNボタンを使用して「Chan. Value」を選択し、ENTERを押します。
5. DMXチャンネル(例:パン、回転、LED)の値が表示されます。ENTERボタンを押すと詳細が確認できます。
6. MODEボタンを押してメニューを終了します。

SECONDARY SET – プライマリー・セカンダリー構成の設定

本機をセカンダリーユニットとして設定できます。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Disp.Set」を選択し、ENTERを押します。
4. UP/DOWNボタンを使用して「Secondary Set」を選択し、ENTERを押します。
5. 現在の設定に応じて「Secondary 1」「Secondary 2」「Secondary 3」のいずれかが表示されます。UP/DOWNボタンを使用して変更してください。
6. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

AUTO PROGRAM – 自動プログラムの設定

この機能を使用すると、内蔵プログラムを「スタンドアローン」または「プライマリー/セカンダリー」モードで動作させることができます。

- 「Primary」モード: DMXケーブルを介して他の照明機器へDMXデータを送信します。
 - 「Alone」モード: 照明機器を単独で動作させます。
 - プログラムはメニューの「Program」で選択します。
 - ステップ数を「Edit Prog」で設定できます。
 - 個々のシーンは「Edit Scenes」で編集できます。
1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
 2. UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
 3. UP/DOWNボタンを使用して「Disp.Set」を選択し、ENTERを押します。
 4. UP/DOWNボタンを使用して「Auto. Prog」を選択し、ENTERを押します。
 5. 「Primary」または「Alone」のいずれかが表示されます。UP/DOWNボタンを使用して設定を変更してください。
 6. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

DEFAULT SETTINGS – 工場出荷時設定の復元

この機能を使用すると、本機を工場出荷時の設定に戻すことができます。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「DFSE」を選択し、ENTERを押します。
4. 現在の設定に応じて「Off」または「On」が表示されます。「On」を選択すると、本機が工場出荷時の設定にリセットされます。
5. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

USB UPGRADE FILE – ソフトウェア更新

このサブメニューは、将来のソフトウェアアップデートのために使用されます。

1. www.adj.com の公式ウェブサイトまたは本機の専用ページで最新のソフトウェアアップデートを確認してください。
2. アップデートファイルをUSBフラッシュメモリにダウンロードします。
3. USBメモリを本機前面の「Service Port」スロットに接続してください。

TIME INFO – 使用時間情報の確認とリセット

この機能を使用すると、現在の稼働時間、総稼働時間、最後にクリアされた時間を確認できます。また、「Total Time」と「Last Time」の時間をクリアまたは設定することも可能です。

設定手順

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Information」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Time.Info」を選択し、ENTERを押します。
4. UP/DOWNボタンを使用して以下の項目を選択します。
 - 「Current Time」 – 現在の稼働時間(時間単位)を表示します。MODEボタンを押して終了。
 - 「Total Time」 – 総稼働時間(時間単位)を表示します。MODEボタンを押して終了。
 - 「Last Time」 – 最後に稼働時間がクリアされた時刻を表示します。MODEボタンを押して終了。
 - 「Time PIN」 – 「Last Time」と「Total Time」をクリアするためのPINコードを設定します。
 - 「Clear Last」 – 「Last Time」カウンターをクリアします。
 1. 「Time PIN」を選択し、ENTERを押します。
 2. UP/DOWNボタンを使用して「PIN」を「050」に設定し、ENTERを押します。
 3. 「Clear Last」を選択し、ENTERを押します。
 4. LEFT/RIGHTボタンを使用して「ON」または「OFF」を選択し、ENTERを押して確定します。
 - 「ON」を選択すると時間がクリアされます。
 - 「OFF」を選択すると、「Time Menu」画面に戻ります。
 - 「Clear Total」 – 「Total Time」カウンターをクリアします。
 1. 「Time PIN」を選択し、ENTERを押します。
 2. UP/DOWNボタンを使用して「PIN」を「060」に設定し、ENTERを押します。
 3. 「Clear Total」を選択し、ENTERを押します。
 4. LEFT/RIGHTボタンを使用して「ON」または「OFF」を選択し、ENTERを押して確定します。
 - 「ON」を選択すると時間がクリアされます。
 - 「OFF」を選択すると、「Time Menu」画面に戻ります。

TEMPERATURE INFO – ヘッド温度の確認

この機能を使用すると、ムービングヘッドの現在の温度を表示できます。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Information」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Temp. Info」を選択し、ENTERを押します。
4. 「T:XXX」が表示されます。「XXX」はムービングヘッドの現在の温度を示します。
5. ENTERまたはMODEボタンを押してメニューを終了します。

FAN SPEED – ベースファン速度の調整

この機能を使用すると、ベースファンの速度を調整できます。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Information」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Fan Speed」を選択し、ENTERを押します。
4. 現在のファン速度（「Fan1」と「Fan2」）が表示されます。
5. ENTERまたはMODEボタンを押してメニューを終了します。

ERROR INFO – エラー情報の表示

このサブメニューでは、発生したエラーを確認できます。不明なエラーが表示された場合は、ADJカスタマーサポートに問い合わせてください。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Information」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Error. Info」を選択し、ENTERを押します。
4. 発生したエラー情報が表示されます。MODEボタンを押して終了します。

MODEL INFORMATION – モデル情報の表示

この機能を使用すると、機器のモデル名を確認できます。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Information」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Model.Info」を選択し、ENTERを押します。
4. 機器のモデル名が表示されます。MODEボタンを押して終了します。

SOFTWARE VERSION – ソフトウェアバージョンの表示

この機能を使用すると、現在のソフトウェアバージョンを確認できます。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Information」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Software.V」を選択し、ENTERを押します。
4. 現在のソフトウェアバージョンが表示されます。MODEボタンを押して終了します。

RESET MOTOR – モーターのリセット

この機能を使用すると、本機のモーターをリセットできます。

リセット手順

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Test」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Reset.Motor」を選択し、ENTERを押します。
4. ENTERボタンを押すとモーターがリセットされます。MODEボタンを押すとメニューを終了します。

TEST CHANNEL – チャンネル機能のテスト

この機能を使用すると、各チャンネルの動作をテストできます。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Test」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「TestChannel」を選択し、ENTERを押します。
4. UP/DOWNボタンを使用してチャンネル機能をスクロールして選択します。
5. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

PANEL CONTROL – パネル制御の微調整

この機能を使用すると、細かな調整を行うことができます。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Test」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Panel. Ctrl」を選択し、ENTERを押します。
4. UP/DOWNボタンを使用して各種調整機能を選択します。
5. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

CALIBRATE – エフェクトホイールのキャリブレーション(調整)

この機能を使用すると、エフェクトホイールの位置調整を行うことができます。

注意: キャリブレーション作業は専門技術者のみが行ってください。

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Test」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Calibrate」を選択し、ENTERを押します。
4. 「XXXX」が表示されます。UP/DOWNボタンを使用して「PIN」を「050」に設定し、ENTERを押します。
5. ENTERボタンを押して設定を確定するか、MODEボタンを押してメニューを終了します。

PROGRAM – プログラムの設定

EDIT PROGRAM – プログラムの編集

本機には内蔵DMXレコーダーが搭載されており、カスタムプログラムを直接本体のコントロールボードに保存・呼び出しできます。プログラムは、本体のコントロールボードまたは外部DMXコントローラーを使用して作成・保存できます。

Select.Prog – 内蔵プログラムの選択

この機能では、ユーザーが定義した9つの内蔵プログラムの中から選択できます。選択したプログラムは、「Function Mode」内の「Program Run」でアクセスできます。

Edit.Prog – 内蔵プログラムの編集

この機能を使用すると、内蔵プログラムを編集できます。

Edit.Scene – シーンの編集

この機能では、ユーザー定義の内蔵プログラムに保存されている個別のシーンを編集・設定できます。前のステップで選択したプログラム内のシーンを調整できます。

PRIMARY-SECONDARY – プライマリー・セカンダリー設定

この機能を使用すると、複数のユニットをリンクして「プライマリー・セカンダリー」構成で動作させることができます。この構成では、1台のユニットが「プライマリー（制御ユニット）」として動作し、他のユニットがその制御信号に従って動作（セカンダリー）します。どのユニットもプライマリーまたはセカンダリーとして動作可能ですが、「プライマリー」ユニットは1台のみ設定可能です。

プライマリー・セカンダリー接続と設定手順

1. ユニットのXLRケーブルでデイジーチェーン接続する

- 本体背面のXLRコネクターを使用してユニットを接続します。
- 標準XLRデータケーブルを使用して各ユニットをリンクしてください。
- XLRのオス端子 (Male) は「入力」、XLRのメス端子 (Female) は「出力」として機能します。
- 最初のユニット（プライマリー）はXLRのメス端子のみを使用します。
- 最後のユニット（セカンダリー）はXLRのオス端子のみを使用します。

2. 最初のセカンダリーユニットをプライマリーに接続する

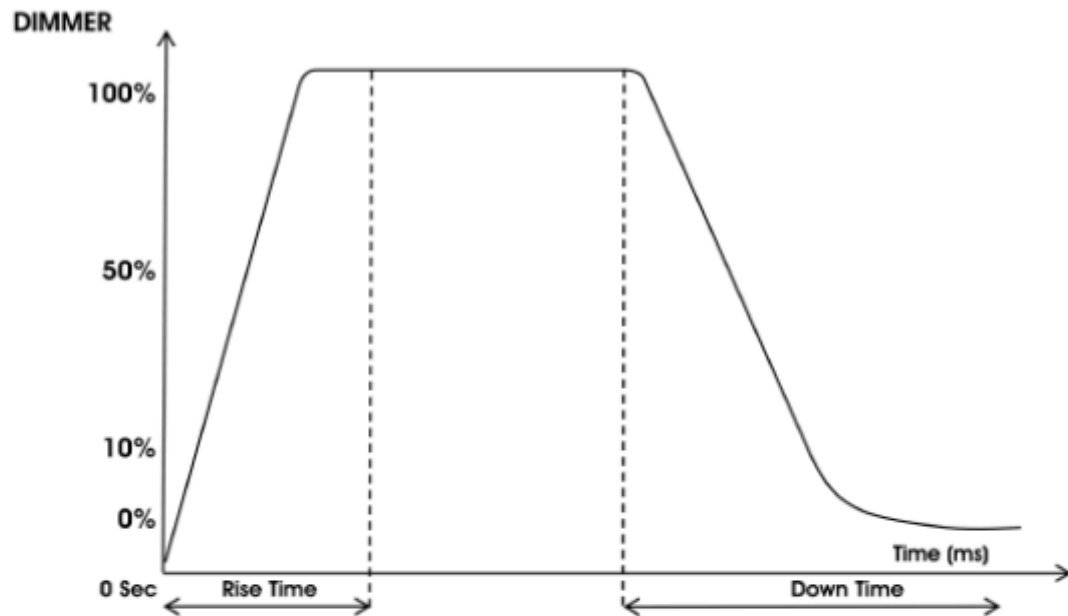
3. プライマリーユニットの設定

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Disp.Set」を選択し、ENTERを押します。
4. UP/DOWNボタンを使用して「Auto. Prog」を選択し、ENTERを押します。
5. 「Primary」または「Alone」のいずれかが表示されます。UP/DOWNボタンを使用して「Primary」を選択してください。
6. ENTERボタンを押して設定を確定します。

4. セカンダリーユニットの設定

1. MODEボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWNボタンを使用して「Function」を選択し、ENTERを押します。
3. UP/DOWNボタンを使用して「Disp.Set」を選択し、ENTERを押します。
4. UP/DOWNボタンを使用して「Secondary Set」を選択し、ENTERを押します。
5. 「Secondary 1」「Secondary 2」「Secondary 3」のいずれかが表示されます。UP/DOWNボタンを使用して希望の設定を選択してください。
6. ENTERボタンを押して設定を確定します。

ディマーカーブ



Dimming Curve Ramp Effect	0 sec Fade Time		1 sec Fade Time	
		255		255
	Rise Time (ms)	Down Time (ms)	Rise Time (ms)	Down Time (ms)
Standard (default)	0	0	0	0
Stage	780	1100	1540	1660
TV	1180	1520	1860	1940
Architectural	1380	1730	2040	2120
Theatre	1580	1940	2230	2280
Stage 2	0	1100	0	1660

DMXチャート

モード / チャンネル			DMX値	機能
Basic	Standard	Extended		
1	1	1	000-255	PAN動作 8ビット 630/540によるパン動作
	2	2	000-255	PAN 微調整 16ビット パン動作の微調整
2	3	3	000-255	傾きの動き 8ビット 傾きの動き
	4	4	000-255	ティルトファイン 16ビット ティルトの動きを細かく制御
3	5	5		カラーホイール
			000-007	白
			008-014	赤
			015-021	オレンジ
			022-028	イエロー
			029-035	グリーン
			036-042	ブルー
			043-049	ピンク
			050-056	シアン
			057-063	マゼンタ
			064-127	カラーミキシング
			128-189	カラーホイール時計回り回転高速-低速
			190-193	機能なし
			194-255	カラーホイール反時計回り回転低速-高速
4	6	6		ゴボホイール
			000-004	オープン
			005-019	ゴボ1
			020-034	ゴボ2
			035-049	ゴボ3
			050-064	ゴボ4
			065-079	ゴボ5
			080-094	ゴボ6
			095-109	ゴボ1をゆっくり振る-速く振る
			110-124	ゴボ2 ゆっくり-速く振る
			125-139	ゴボ3 ゆっくり-速く振る
			140-154	ゴボ4 ゆっくり-速く振る
			155-169	ゴボ5 ゆっくり-速く振る
			170-189	ゴボ6 ゆっくり-速く振る
			190-221	ゴボホイール時計回り回転高速-低速

			222-223	機能なし
			224-255	ゴボホイール反時計回り低速-高速
5	7	7		ゴボの回転
			000-127	ゴボ回転インデックス
			128-191	ゴボ回転 時計回り 高速-低速
			192-255	ゴボ回転反時計回り低速-高速
6	8	8		シャッターとストロボ
			000-031	シャッター閉(機能なし)
			032-063	シャッターオープン
			064-095	ストロボの低速-高速
			096-127	シャッターオープン
			128-159	パルスストロボ 低速-高速
			160-191	シャッターオープン
			192-223	ランダムストロボ(低速-高速)
			224-255	シャッターオープン
7	9	9		マスターディマー
			000-255	強度0~100%
		10	000-255	ディマーファイン16ビット
8	10	11		プリズム1
			000-031	オープン
			032-255	6面円形プリズム
9	11	12		プリズム1のインデックスと回転
			000-127	Prism 1 インデックス
			128-189	時計回り回転 高速-低速
			190-193	回転なし
			194-255	反時計回り回転 低速-高速
		13	000-255	Prism 1 インデックスファイン 16ビット
10	12	14		プリズム2
			000-031	オープン
			032-063	5面リニアプリズム
11	13	15		Prism 2 インデックスと回転
			000-127	Prism 2 インデックス
			128-189	時計回り回転 高速-低速
			190-193	回転なし
			194-255	反時計回り回転 低速-高速
		16	000-255	Prism 2 インデックスファイン 16ビット
12	14	17	000-255	フォーカス 遠くから近くまで連続調整
13	15	18	000-255	ズーム(ビーム角度狭角~広角)
		19	000-255	ズームファイン16ビット

14	16	20		ディマーカーブ
			000-020	Standard
			021-040	Stage
			041-060	TV
			061-080	Architectural
			081-100	Theatre
			101-120	Stage 2
			121-255	Default Unit Setting
15	17	21	000-255	パン/チルト速度 最大速度から最小速度
16	18	22		機能、リセット、内部プログラム
			000-009	機能なし
			010-019	パン/チルト動作によるブラックアウト
			020-029	カラーホイールの動きによるブラックアウト
			030-039	ゴボホイールの動きによるブラックアウト
			040-059	カラーとゴボモーターのリセット
			060-069	プリズムモーターリセット
			070-079	パン＆チルトモーターのリセット
			080-089	フォーカスモーターリセット
			090-099	すべてのモーターをリセット
			100-119	内部プログラム1 (EEPROMのシーン1～8)
			120-139	内部プログラム2 (EEPROMのシーン9～16)
			140-159	内部プログラム3 (EEPROMのシーン17～24)
			160-179	内部プログラム4 (EEPROMのシーン25～32)
			180-199	内部プログラム5 (EEPROMのシーン33～40)
			200-219	内部プログラム6 (EEPROMのシーン41～48)
			220-239	内部プログラム7 (EEPROMのシーン49～56)
			240-255	機能なし

仕様は予告なく変更される場合があります
回転方向(時計回り／反時計回り)およびエフェクトの制御は、ヘッドの向きとパン／チルト設定に依存します。

Remote Device Management (RDM)

RDMの注意事項

RDMを適切に動作させるためには、システム全体にRDM対応機器（DMXデータスプリッターやワイヤレスシステムを含む）を使用する必要があります。

Remote Device Management (RDM) は、DMX512規格の上に構築されたプロトコルであり、照明機器のDMXシステムを遠隔で管理・変更・監視できるようにします。このプロトコルは、設置場所が容易にアクセスできない照明機器に特に適しています。

RDMの仕組み

RDMにより、DMX512システムは双方向通信が可能になります。

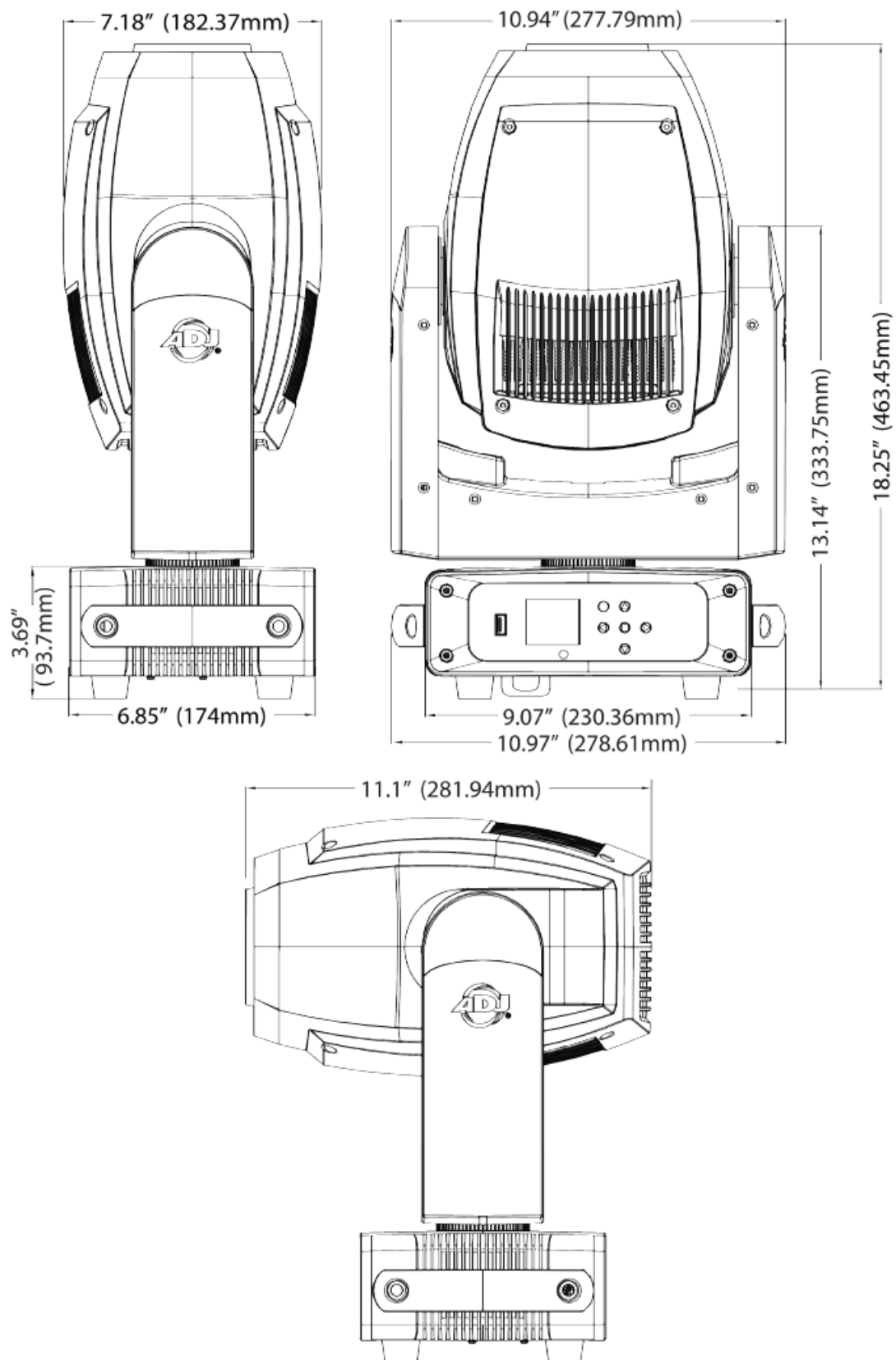
- RDM対応コントローラーは、ケーブル接続されたデバイスに信号を送信できます。
- 照明機器側はレスポンス（GETコマンド）を返すことが可能になります。
- コントローラーはSETコマンドを使用して、通常は本体のディスプレイで変更する設定（DMXアドレス、DMXチャンネルモード、温度センサー設定など）を遠隔で変更できます。

重要事項

RDMデバイスはすべてのRDM機能をサポートしているわけではありません。そのため、機器の選定時には必要な機能が含まれているか事前確認を行うことが重要です。

[0x0011] Proxied Device Count	[0x0600] Pan Invert
[0x0200] Sensor Definition	[0x0601] Tilt Invert
[0x0201] Sensor Value	[0x0602] Pan Tilt Swap
[0x0080] Device Model Description	[0x0500] Display Invert
[0x0081] Manufacturer Label	[0x0501] Display Level
[0x0082] Device Label	[0x0603] Realtime Clock
[0x00E0] DMX Personality	[0x1010] Power State
[0x00E1] DMX Personality Description	[0x1031] Preset Playback
[0x0400] Device Hours	[0x0122] Default Slot Value
[0x0015] Comms Status	[0x00B0] Language
[0x0031] Status ID Description	[0x00A0] Language Capabilities
[0x0032] Clear Status ID	[0x00C2] Boot Software Version Label
[0x0401] Lamp Hours	[0x00C1] Boot Software Version ID
[0x0402] Lamp Strikes	[0x0070] Product Detail ID List
[0x0403] Lamp State	[0x0030] Status Messages
[0x0404] Lamp Mode	[0x1001] Reset Device
[0x0405] Device Power Cycles	

寸法図



仕様

光源

- 200W クールホワイトLEDエンジン

機能

- モーター駆動フォーカス
- モーター駆動ズーム(11～22度) + 16ビット微調整ズーム
- 2種類のプリズムエフェクト(回転式5面リニアプリズム & 回転式6面円形プリズム)
- 0～100%のスムーズな調光
- 各種ストロボ速度調整
- USBファームウェア更新ポート
- 2つの冷却ファン

カラーホイール

- 8色のダイクロイックフィルター + ホワイト

GOBOホイール

- 6枚のアルミ製GOBO + オープン・すべてのGOBOは交換・回転可能
- GOBOシェイクエフェクト
- GOBOサイズ: 外径 22.5mm / 表示範囲 19mm / 厚さ 0.5～2mm

プリズムホイール

- プリズムホイール1: 回転式5面リニアプリズム
- プリズムホイール2: 回転式6面円形プリズム
- プリズムインデックス制御

制御

- DMXチャンネルモード: 16/18/22チャンネル
- カラーLCDディスプレイ(6ボタン機能メニュー)
- データ入出力: 5ピンDMX
- 電源入出力: ロック式電源コネクション
- 制御モード: DMX512 または 内部プログラム
- 6種類の調光カーブ: スタンダード、ステージ、TV、建築用、劇場用、ステージ2
- 0～100%スムーズな調光
- 各種ストロボ速度調整
- USBファームウェア更新ポート
- 有線デジタル通信ネットワーク対応
- RDM(リモートデバイス管理)対応

パン/チルト

- パン: 540度 / 630度
- チルト: 270度

寸法 & 重量

- 寸法: 181.5mm (長さ) × 278.6mm (幅) × 457.4mm (高さ)
- 重量: 10kg

付属品

- オメガブラケット・3mロック式電源ケーブル
- セーフティケーブル

認証・承認

- cETLus認証取得(認証番号: 4010765)